
ひろし・Road下巻

タケル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひろし・Road下巻

【著者名】

N7797A

【作者名】 タケル

【あらすじ】

クリスマス直前の飲み会シーズンにたまたま出遭つてしまつたエイコの場合。奴ならどうする、果たして彼女は逃げ延びることが出来るのか。

ハルソード3 奴とのめぐり遭い（前書き）

この作品はフィクションです。登場人物や団体、その他の背景は実在していません。しかし、ひろしチックな人物は貴方の周りに居るのかもしれません。

Hソード3 奴とのめぐり遭い

断つておぐが、奴は妻帯者である。

にもかかわらず、半ば強引に女性と付き合つてしまひ。
ここでは、その毒牙にかかつたある一人の女性との出来事について
書いてみよう。

エイコの場合

今からさかのぼること2年半前。
ちょうど街がクリスマスのイルミネーションで飾られていた頃のこと
だった。

最近転職をしたばかりのエイコの友人、リコからのメールで始まつた。

「元気～！最近どうしてる～？実は職場の人で面白いオジサンがいるんだけど、

飲み会しよう～！女の子呼んで～って五月蠅いのよ～。」

仕事を始めたばかりで、男だらけの職場に馴染めない感じでリコからのおじさんだ。

親友の助けになるなら…といふ気持ちからエイコは飲み会への参加を快諾した。

年末に向けて、そうでなくとも忙しい毎日。まあ大半は忘年会だ。

(でも珍しいな～、リコからの飲み会のお誘いだなんて。よっぽど困つてゐるのかな。)

こんなことを思いながらもメールに返信した。

「土曜日なら大丈夫。何とか時間作るよ。」

リコは内向的で大人しく、仕事上の嫌なことでも断りきれずにいた。しかも、その職場こそまさに、ひるしの独壇場だ。下ネタの格好の標的である。

対してエイコは外交的で物怖じしない。彼女のの中にはほんの少し的好奇心もあった。

(もしかして、職場に好きな人でも出来たかな? リコ好みのイケメンはそう居ないからな。)

そんな彼女の思惑とはかけ離れた人物との出会いだった。

「土曜日午後7時頃には迎えに行くね。」

約束の日、前日のお酒が抜けきらないまま迎えのリコの車中で聞いてみる。

「職場で好きな人でもできたの?」

「ちッ違うよ! 誰があんなオジサン。毎日下ネタで困ってるのよ。実害は無いけどね。」

(なあ~んだ、厄介な奴をとりあえずおとなしくさせたいだけかあ。)

残念な気持ちと同時に頭の中を接待モードに切り替える。

営業という仕事柄接待には慣れている。テキトーに盛り上げてテキトーに切上げる。

…つもりだった。相手があのひろじでさえなければ…。

居酒屋に着くと一日酔いの頭痛だけが気にかかる。もはやどんな人が来るか興味は無い。

(出かける前に痛み止め飲んでいれば良かつたかなあ。あ~断れば良かった。)

そんな事を思っていた矢先に居酒屋のドアが開いた。

身長推定177cm、体重およそ77kg

メガネをかけた30代半ばの男が一人、ズカズカとこちらに来る。

「お疲れ様です。」

リコが声をかけるとほぼ同時にエイコも

「お疲れ様です。」

まったくの初対面のはずである。にもかかわらずエイコにはなぜか
わかっていたのだ。

（何でだろう、あの人だ！ってなぜ…。）

直感したのだ。今後の彼女の運命を変えるプロローグである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7797a/>

ひろし・Road下巻

2010年12月4日05時22分発行